



自身の体験を基に、介護の苦
労を笑いに変える講談を披露し
ています。

最初の介護は、18歳の時。脳
外科手術の後遺症で、植物状態
になった実母を懸命に世話しま
した。その次は、夫の母です。
私は30歳代で一人娘がまだ小さ
く、子育てと介護の「ダブルケ
ア」は大変でした。

講談で二ツ目に昇進すると、
「介護経験を講談にして語って
ほしい」との依頼を受けました。
介護保険もない時代でしたが、

田辺 鶴瑛さん
かくえい

介護体験 講談ネタに

これが評判になり、仕事が増え
ました。

2005年、夫の父が脳梗塞
で倒れ、認知症になりました。
家族交代での世話が續くと、疲
れがたまりません。看護師の友人
に「介護する人とされる人が」
共存共栄でないと続かない」と
言われ、「手抜きでもいい」と
腹を据えたら楽になりました。

初めは不自由な体にいらついでいた義父自身も、状況を受け
入れたようです。穏やかになっ
た義父との少しずれたやりとり
が楽しく、共存共栄、講談のネ
タをたくさんもらいました。最
期は自宅に親族が集まり、万歳
三唱で見送りました。

昨年、私の介護講談を記録し
たドキュメンタリー映画が公開
されました。介護の暗いイメー
ジを、これからも話芸で吹き飛
ばしていきたいですね。(聞き
手・飯田祐子、写真・安斎晃)

講談師。1955年生まれ。北海道出身。映画「田辺鶴瑛の『介護講
談』」が、4日に千葉県八千代市の少林寺勝田台道院、12日に東京
都練馬区のYume Mirai Cafeで上映予定。

